

# 令和3年度 学校評価アンケート結果

吉野川市立鴨島第一中学校

## 1 アンケート実施状況

### (1) 実施日

令和4年1月20日(木)～1月28日(金)

### (2) 回答数

ア 生徒 343名 回答率 95.1% (昨年度 96.6%)

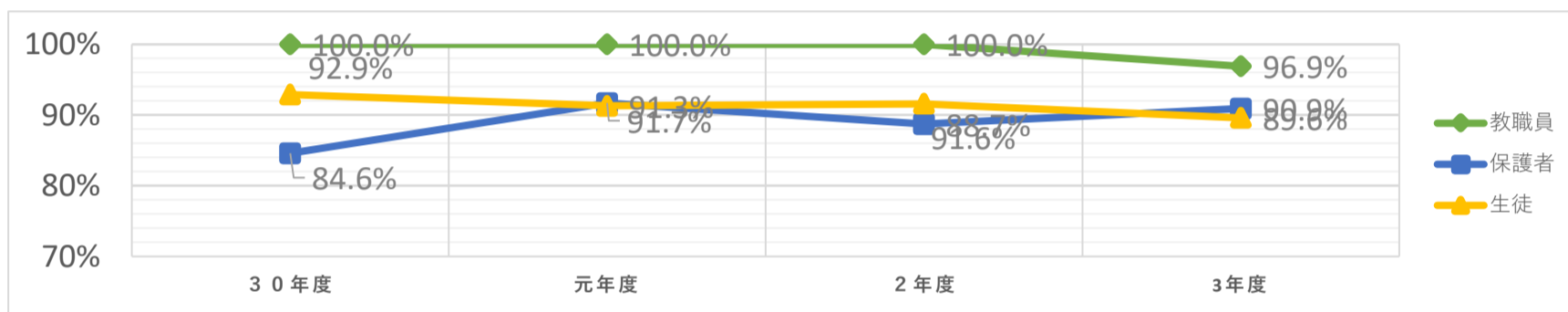
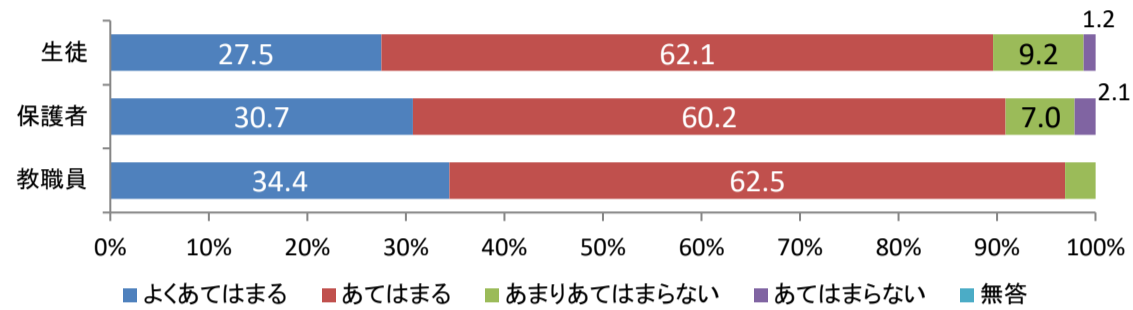
イ 保護者 339名 回答率 93.9% (昨年度 94.4%)

ウ 教職員 32名 回答率 100.0% (昨年度 100.0%)

## 2 集計結果

### ① 生徒は、授業に真面目に取り組んでいる。

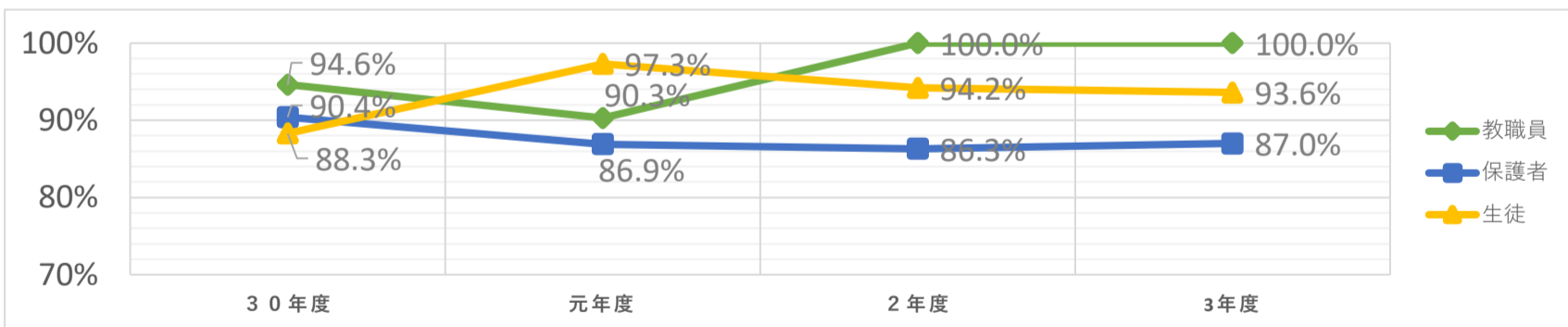
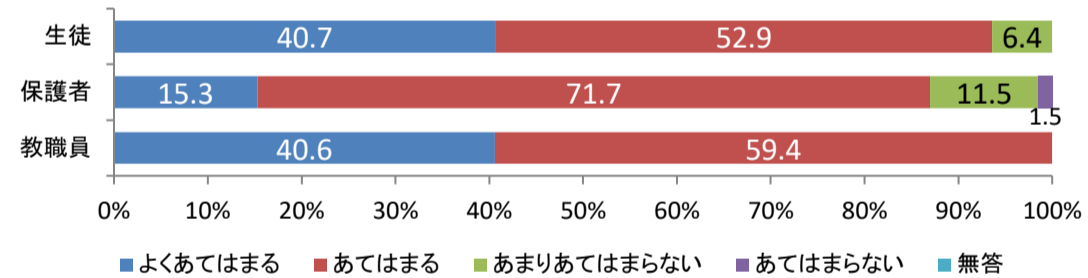
	あてはまる	あてはまらない
生徒	89.6%	10.4%
保護者	90.9%	9.1%
教職員	96.9%	3.1%



全学年のどの授業も私語をすることもなく真面目に集中して受けることができている。時折、居眠りをしてしまいそうな状況がある生徒が「あてはまらない」と答えているのではないだろうか。授業を集中して受けることが学力定着の第一歩なので、これからもわかりやすい授業を展開していきたい。

### ② 先生は、教え方を工夫して、わかりやすい授業をしている。

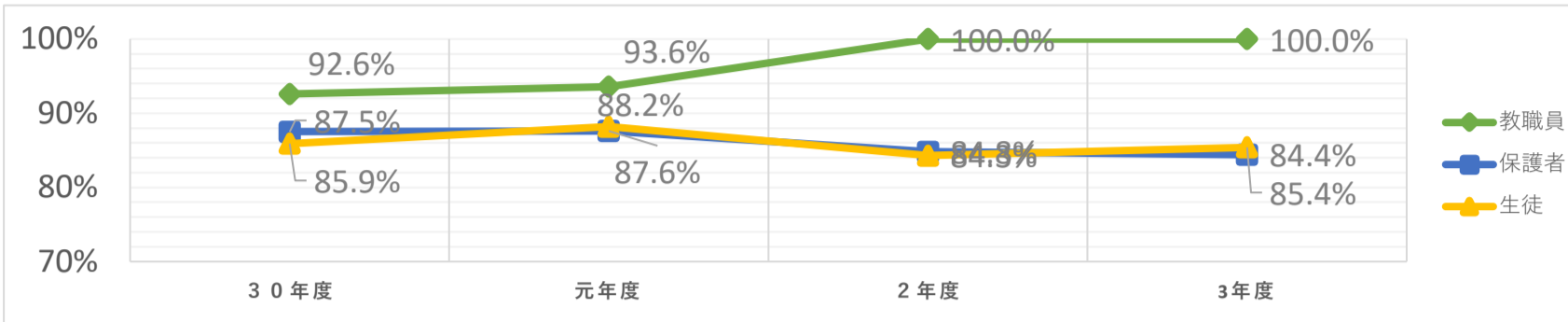
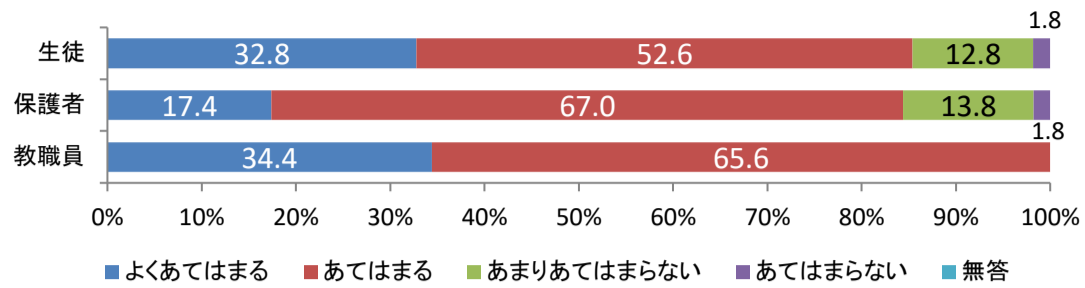
	あてはまる	あてはまらない
生徒	93.6%	6.4%
保護者	87.0%	13.0%
教職員	100.0%	0.0%



生徒、先生とも高い割合で肯定的な回答をしているが、保護者の「あてはまらない」と感じている割合が高い。ICTを活用するなど、生徒が興味・関心を示し理解しやすい授業を創造していく必要がある。

③ 先生は、適切な量の宿題を出し、家庭学習が続くように指導してる。

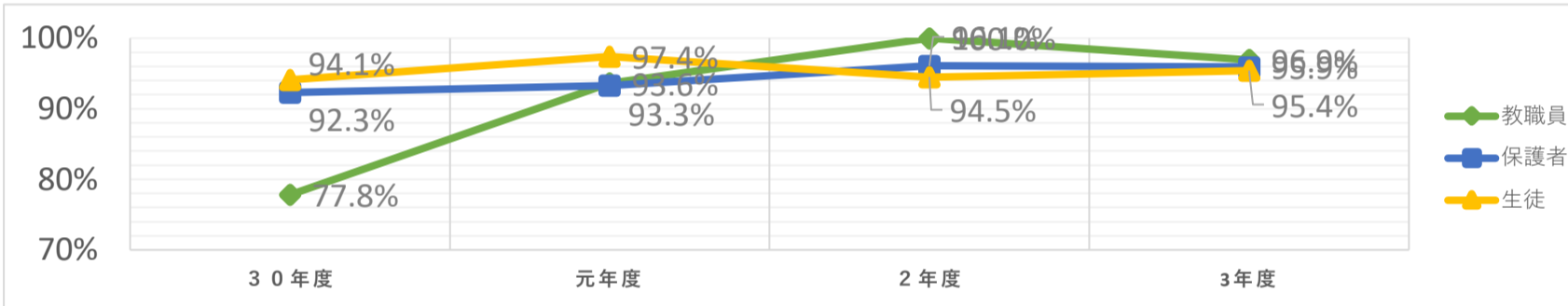
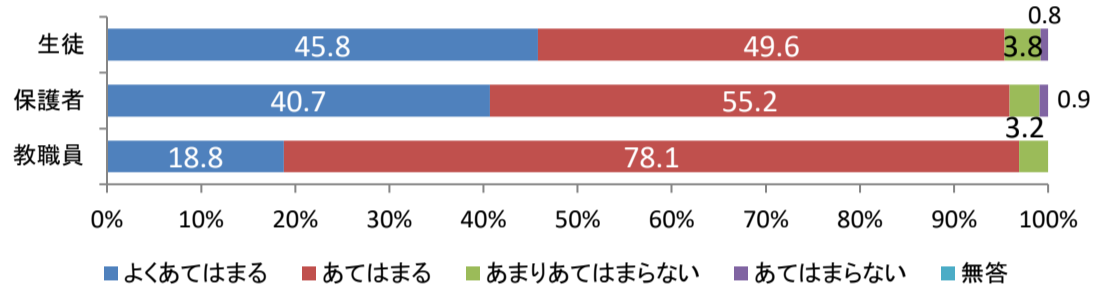
	あてはまる	あてはまらない
生徒	85.4%	14.6%
保護者	84.4%	15.6%
教職員	100.0%	0.0%



急な臨休等もあり、適切な量の宿題が出せない状況があったことは、反省しないとイケない。中学生は、宿題がなくても自分で課題を見つけ家庭学習ができるように指導していきたい。

④ 生徒は、集団生活に必要なきまり（交通ルールやスクールルール）を守っている。

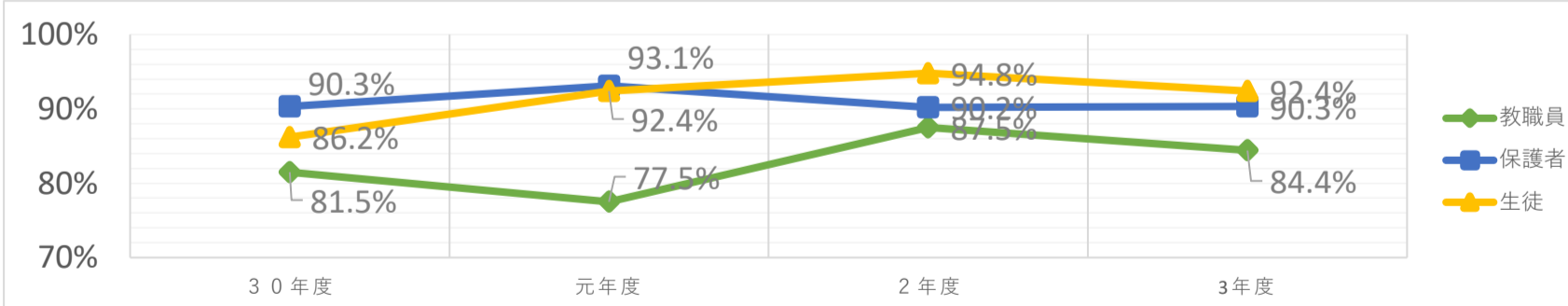
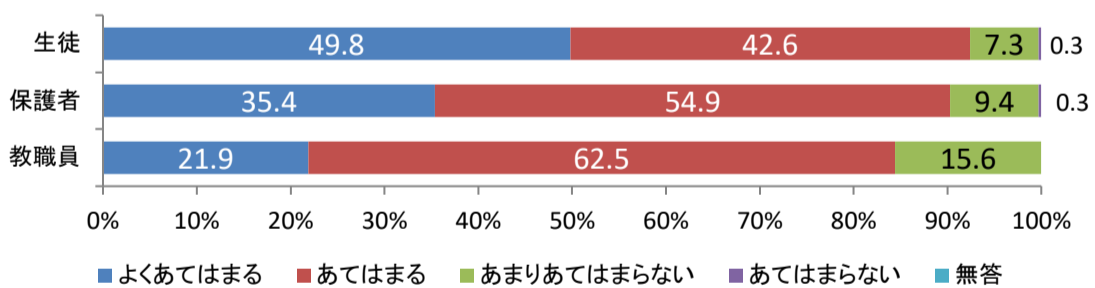
	あてはまる	あてはまらない
生徒	95.4%	4.6%
保護者	95.9%	4.1%
教職員	96.9%	3.1%



今年度も三者とも高い割合で肯定的な回答であった。生徒一人一人が自覚を持って集団生活を送るに当たっての「きまり」を守っているため、学校全体が落ち着いた雰囲気である。

⑤ 生徒は、友達や先生、近所の人にあいさつができる。

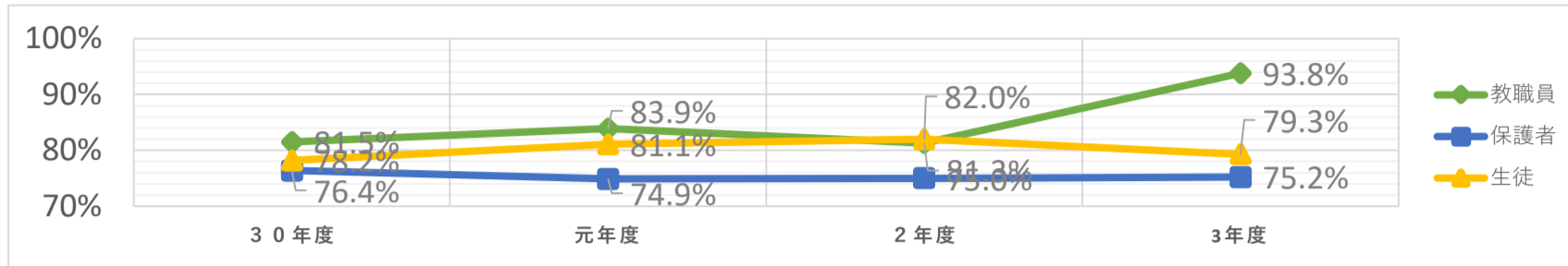
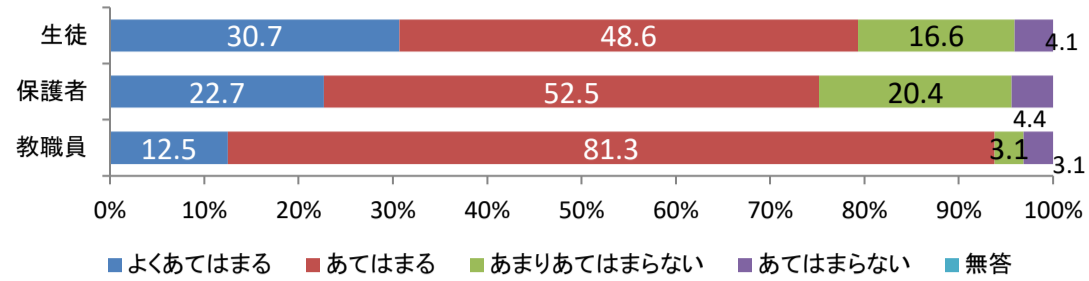
	あてはまる	あてはまらない
生徒	92.4%	7.6%
保護者	90.3%	9.7%
教職員	84.4%	15.6%



生徒会中心に「あいさつ日本一の学校」を目標に取り組んでいるため、積極的にあいさつができているが、登校時の立哨では、あいさつが返ってこない生徒も見られた。全員が元気であいさつができるようにしていきたい。

⑥ 生徒は、健康（食生活や運動）に気をつけ、規則正しい生活に取り組んでいる。

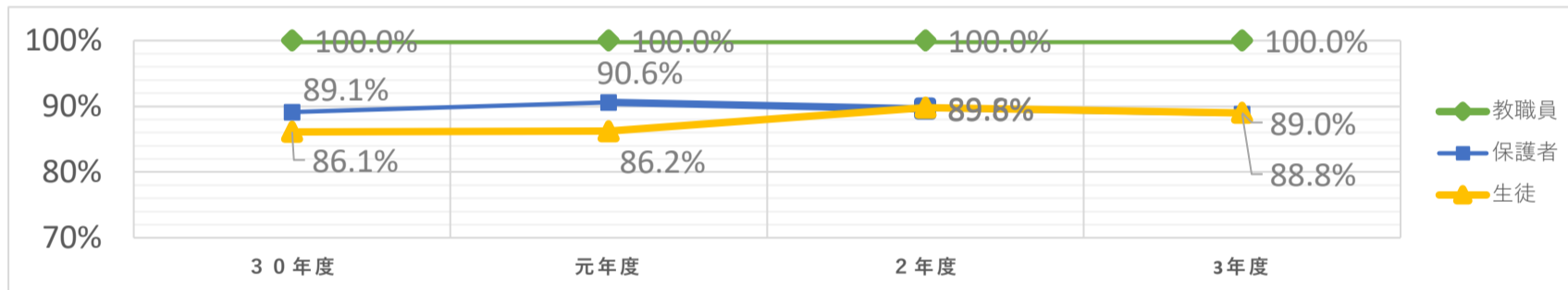
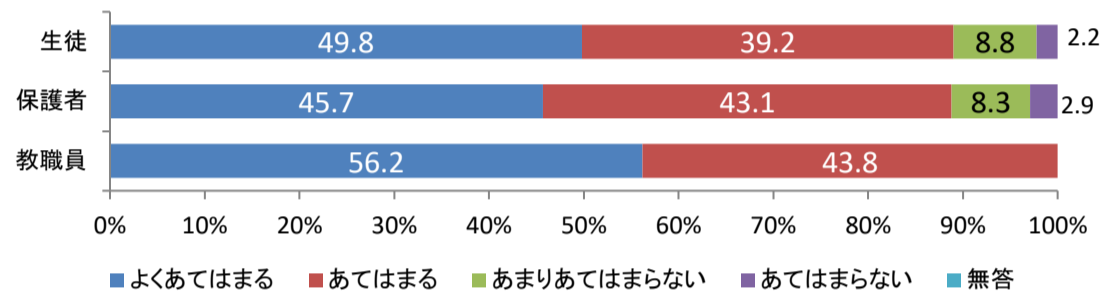
	あてはまる	あてはまらない
生徒	79.3%	20.7%
保護者	75.2%	24.8%
教職員	93.8%	6.2%



スマホでの友達とのやりとりは22時までというルールを明確にしたが、遅くまでゲームをしたり朝ご飯を食べてきていない生徒も見られ、改善の余地がある。学校と家庭が連携して規則正しい生活ができるよう取り組んでいきたい。

⑦ 生徒は、学校の行事や部活動に積極的に取り組んでいる。

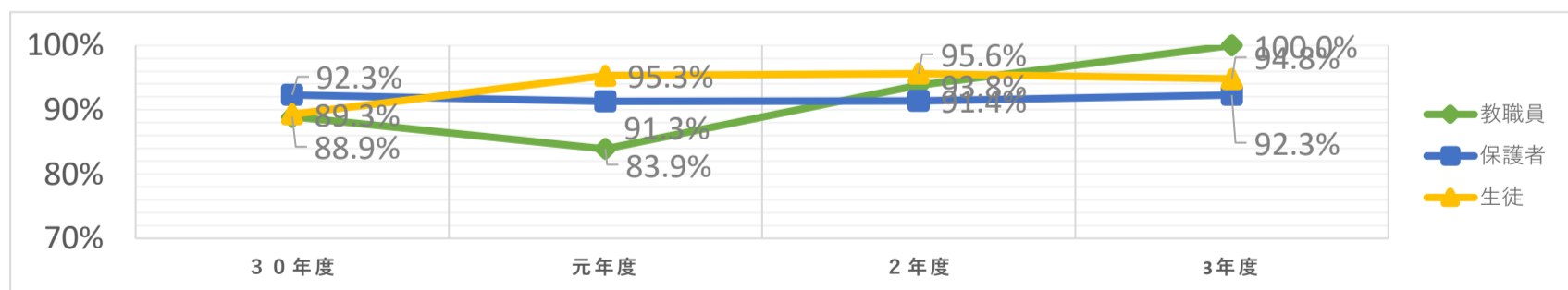
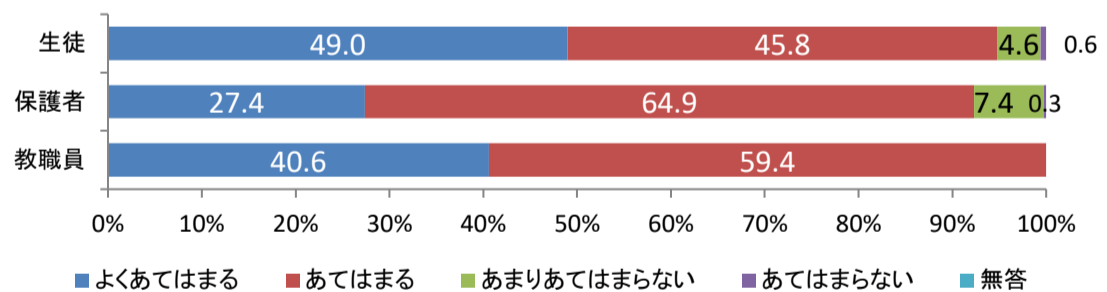
	あてはまる	あてはまらない
生徒	89.0%	11.0%
保護者	88.8%	11.2%
教職員	100.0%	0.0%



一中祭や合唱コンクールなどの行事にほとんどの生徒がクラスの一員として積極的に参加して取り組んでいると思われるが、コロナ禍の影響もあり、制限の多い中での活動となり、達成感や充足感が感じられにくいかもしれない。早く例年通りの行事や部活動ができるようにしていきたい。

⑧ 先生は、言葉づかいや礼儀正しい行動について指導している。

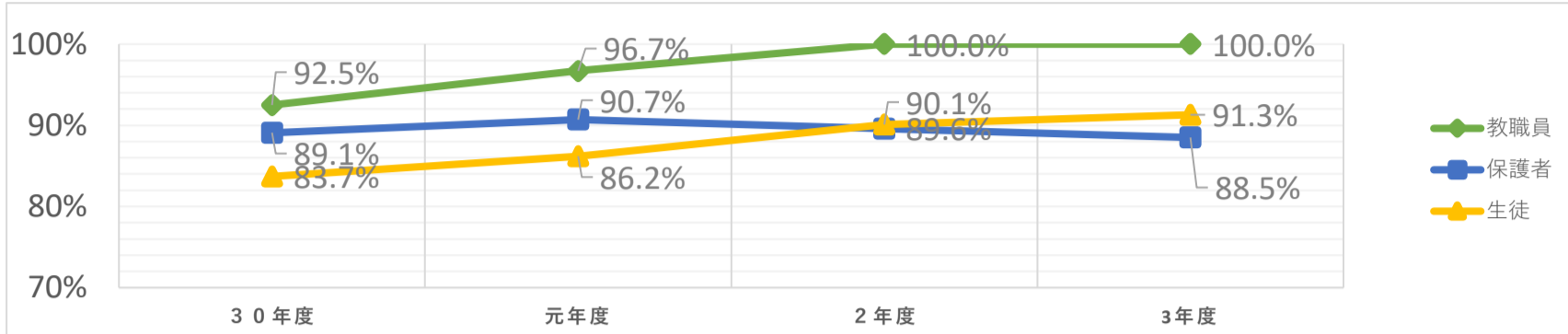
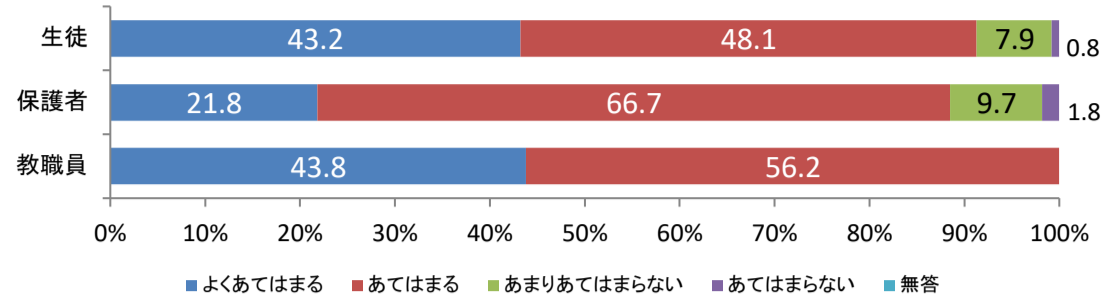
	あてはまる	あてはまらない
生徒	94.8%	5.2%
保護者	92.3%	7.7%
教職員	100.0%	0.0%



三者とも肯定的な回答が90%を超えている。これからも、教職員自ら生徒の模範となるよう日々の生活の中から言葉づかいなどに気をつけていきたい。

⑨ 先生は、好ましい交友関係（先輩後輩の関係，同級生との関係）になるよう指導している。

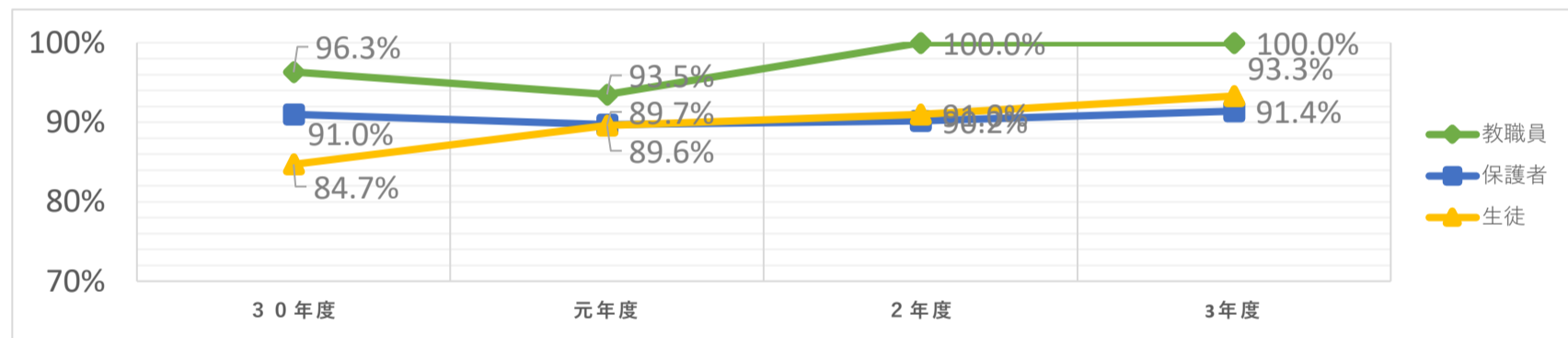
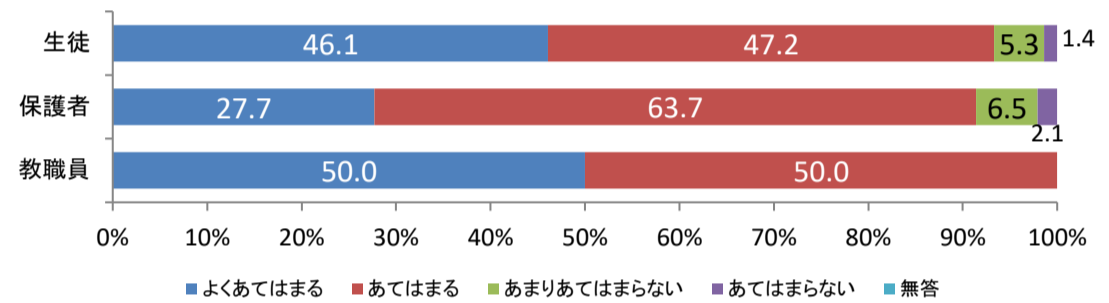
	あてはまる	あてはまらない
生徒	91.3%	8.7%
保護者	88.5%	11.5%
教職員	100.0%	0.0%



教職員と保護者の意識の差が10%以上あることを認識し、生徒指導上必要なことは、積極的に保護者と連携を取っていききたい。また、道徳の時間等を有効に活用し、教職員の思いが生徒や保護者に伝わるように努力していききたい。

⑩ 先生は、生徒一人一人を大切に言葉がけをしている。

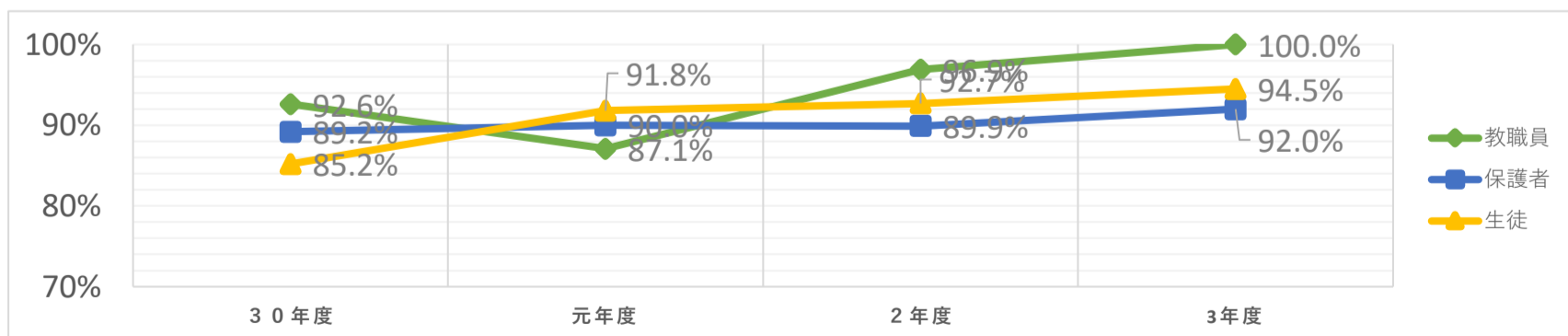
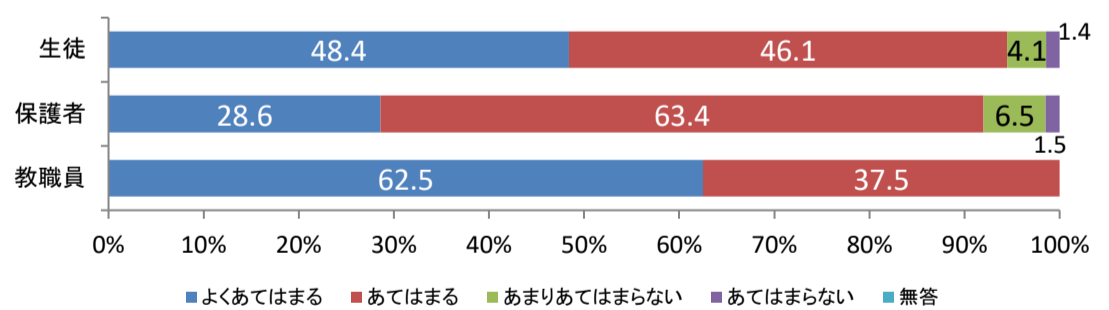
	あてはまる	あてはまらない
生徒	93.3%	6.7%
保護者	91.4%	8.6%
教職員	100.0%	0.0%



「人を大切にできる学校」を教育目標に据えている以上、一人一人を大切に言葉がけができるよう、全職員に徹底していききたい。教師と生徒の信頼関係が深まるような会話を増やしていききたい。

⑪ 先生は、生徒からの質問や悩みの相談にきちんと応じている。

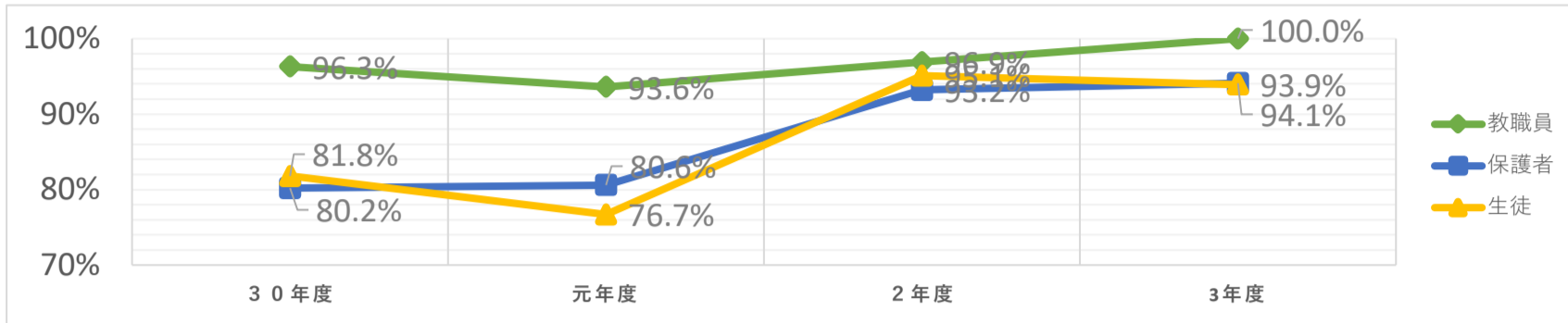
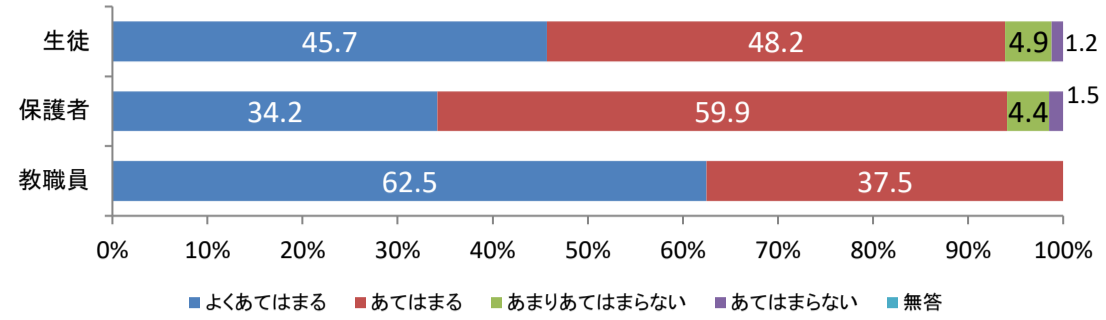
	あてはまる	あてはまらない
生徒	94.5%	5.5%
保護者	92.0%	8.0%
教職員	100.0%	0.0%



生徒、教職員とも肯定的な回答が多くなっており、生徒の話に耳を傾けることができているように思われる。スクールカウンセラーなど担任以外の職員も気軽に生徒と会話ができる雰囲気があり、今後もその雰囲気を大切にしていきたい。

⑫ 先生は、保護者からの質問や悩みの相談があるときはきちんと応じている。

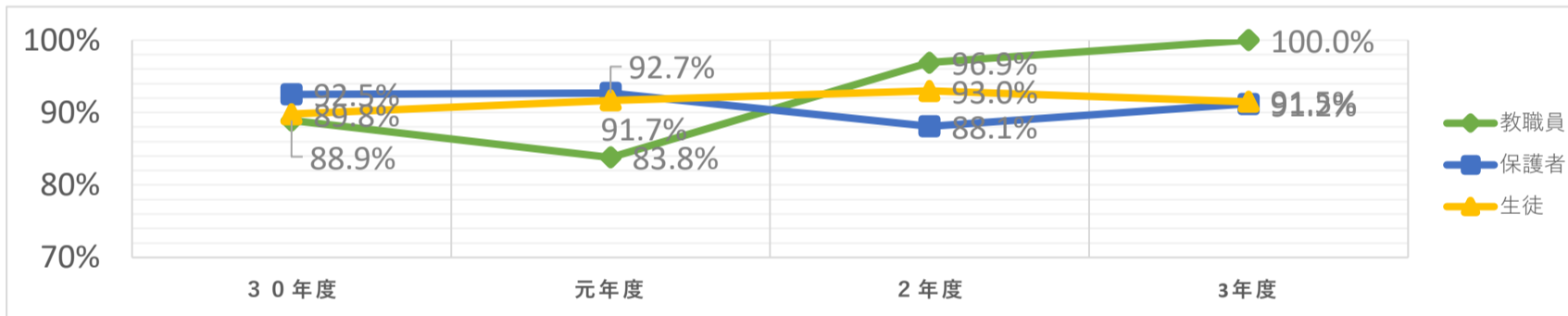
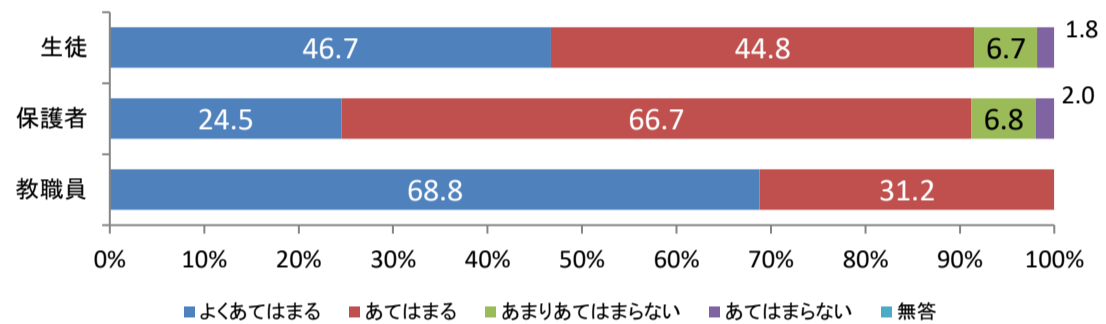
	あてはまる	あてはまらない
生徒	93.9%	6.1%
保護者	94.1%	5.9%
教職員	100.0%	0.0%



保護者の方の肯定的な回答が90%を超えている。これからも保護者の質問や悩みにたいして迅速にそして丁寧に答えられるように努めていきたい。

⑬ 先生は、いじめやトラブル等問題が起こったとき、適切に対応している。

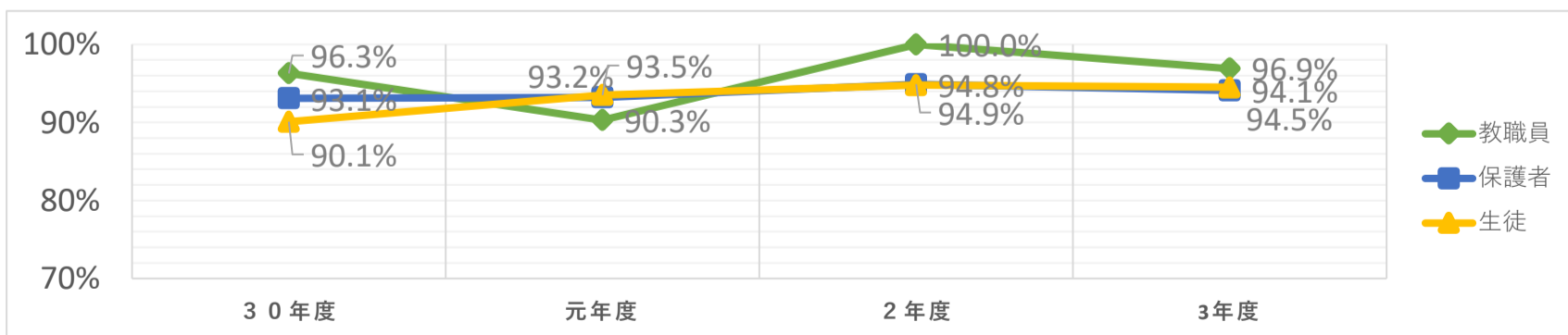
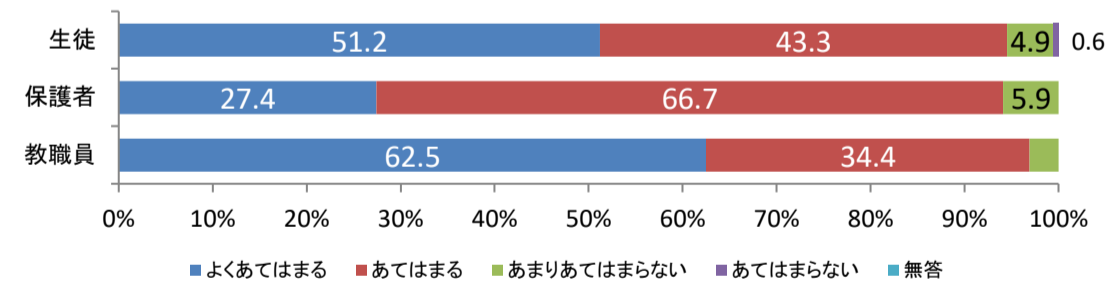
	あてはまる	あてはまらない
生徒	91.5%	8.5%
保護者	91.2%	8.8%
教職員	100.0%	0.0%



昨年度より保護者の肯定的な意見が増加し、90%を超えた。トラブル等があったときの経過や指導方針の説明をより一層誠実に丁寧にしていきたい。

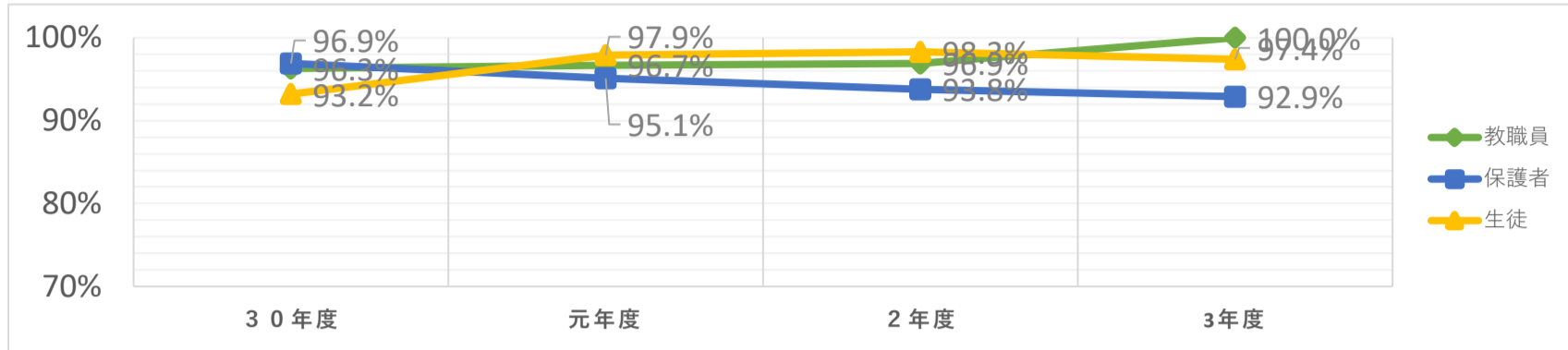
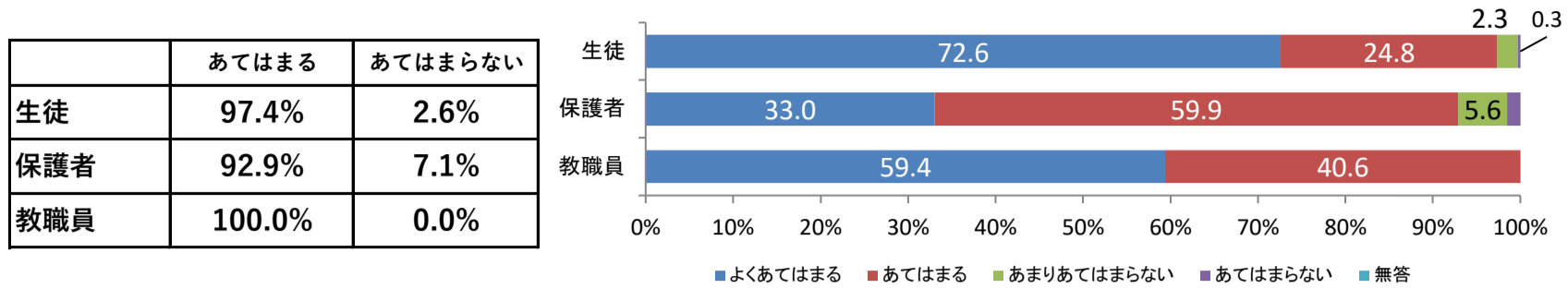
⑭ 学校は、安全で快適に生活したり学習したりできるような環境づくりに取り組んでいる。

	あてはまる	あてはまらない
生徒	94.5%	5.5%
保護者	94.1%	5.9%
教職員	96.9%	3.1%



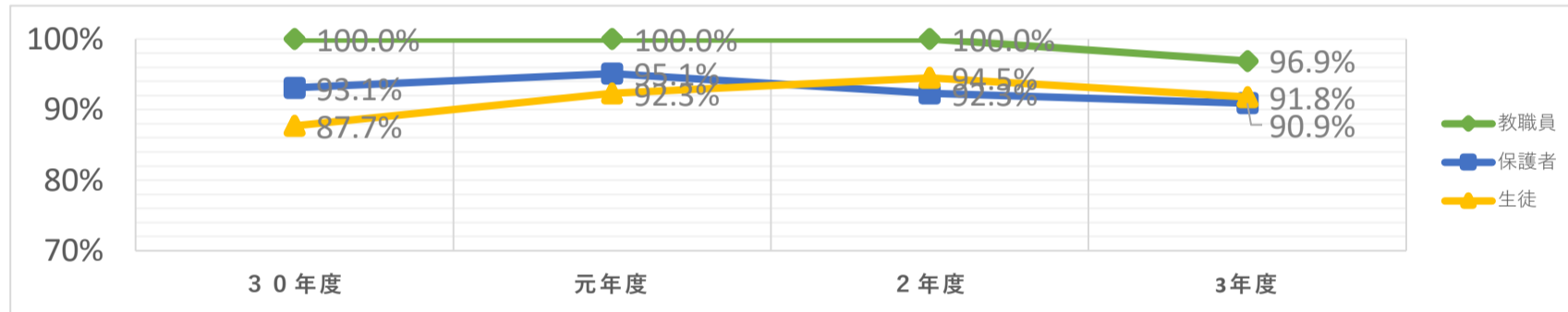
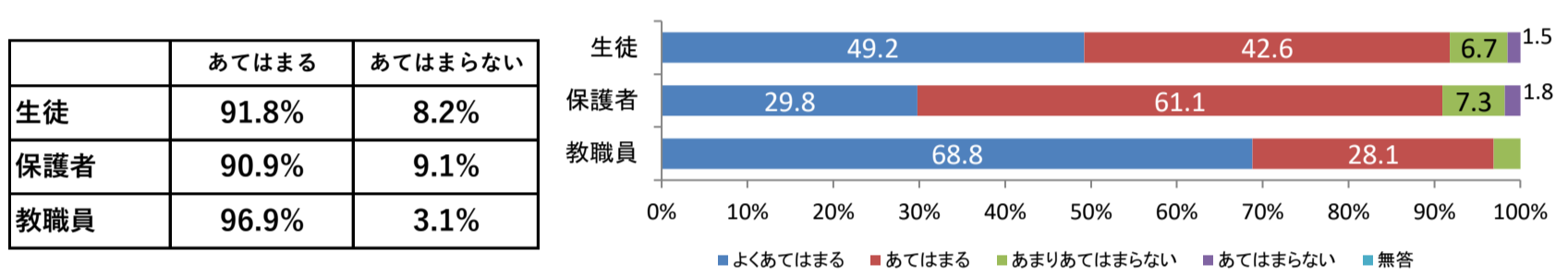
本年度は、ロスナイ換気扇の設置、蛇口の自動水栓等、一層安心安全のために環境が整った。さらに教室環境も担任の創意工夫で生徒が居心地の良いものになっている。

⑮ 学校は、ボランティア活動等で地域とのつながりを大切にしている。



毎回100人前後の生徒がエコフレンドに参加し、地域の方とともに学校や江川周辺の清掃活動を行っている。一中生が参加しだして20年以上経過し、参加者も延べ人数2万人を突破した。また第3水曜日には、鴨島自動車学校や阿波吉野川署と協力し「マナーアップ活動」に取り組んでおり、地域の方とのつながりを育てている。

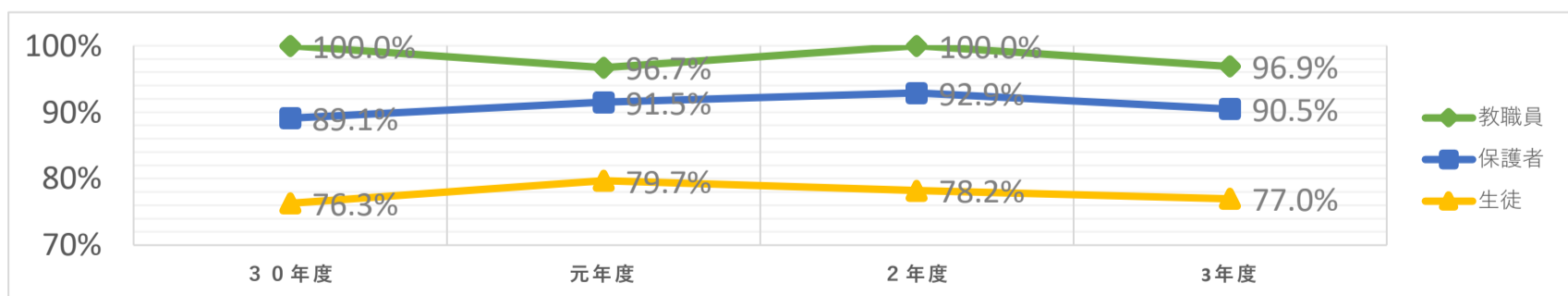
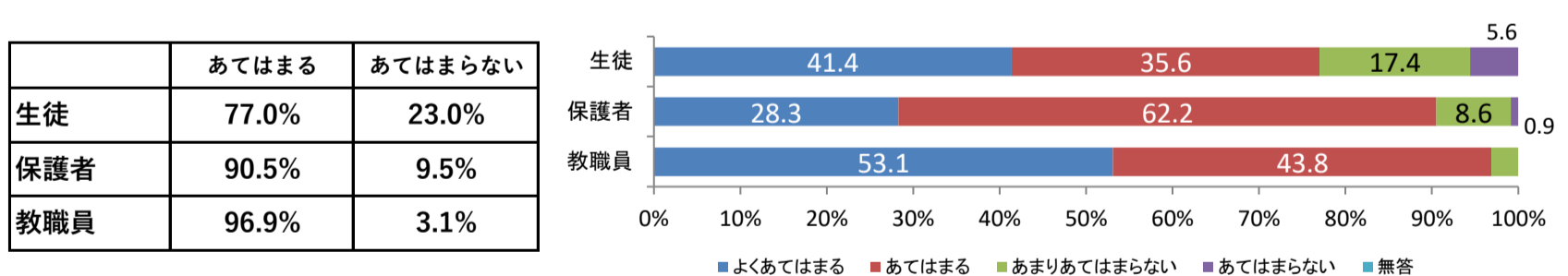
⑯ 学校は、コロナ禍にあって、行事や学校生活が充実するように工夫している。



コロナ禍の影響で様々な制約がある中、主要な行事を生徒会の役員のアイデアと生徒・職員の協力でやり遂げることができた。一中祭や合唱コンクールも実施できたことは大なる成果であると考えている。

⑰ 私は、学年通信・保健室だよりなど保護者にきちんと渡して見せている。

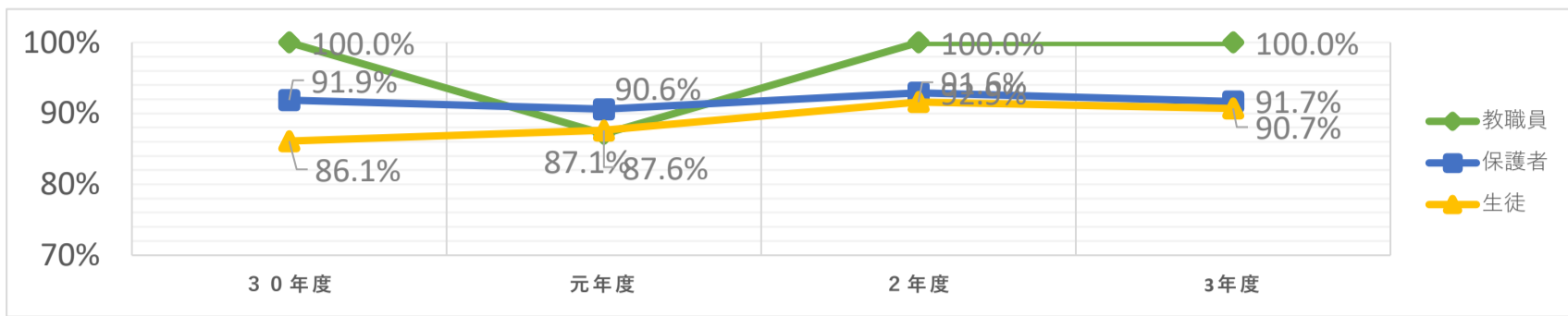
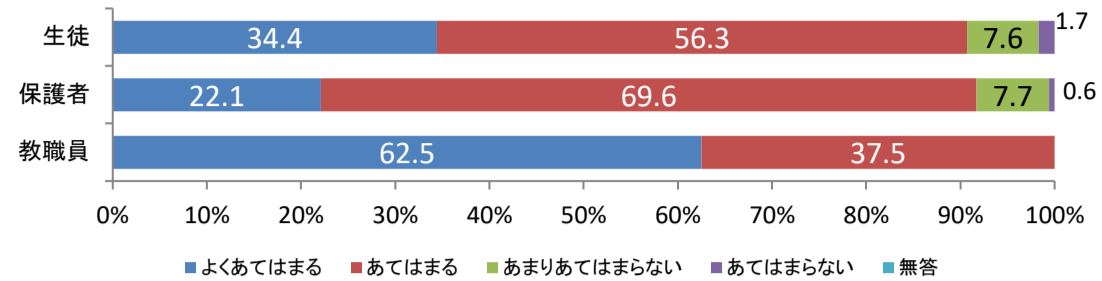
⑰ 学校は、学年通信・保健だより・ホームページなどで、学校の活動や生活の様子を知らせている。



20%以上の生徒が、プリント類をきちんと保護者に渡していないのは大変残念な結果である。配布物用のファイルを準備し、そこにすべて入れるようにするなどの対策を取ったが、改善できていない。さらなる指導を徹底したい。

⑱ 私は、人権学習に意欲的に取り組んでいる。

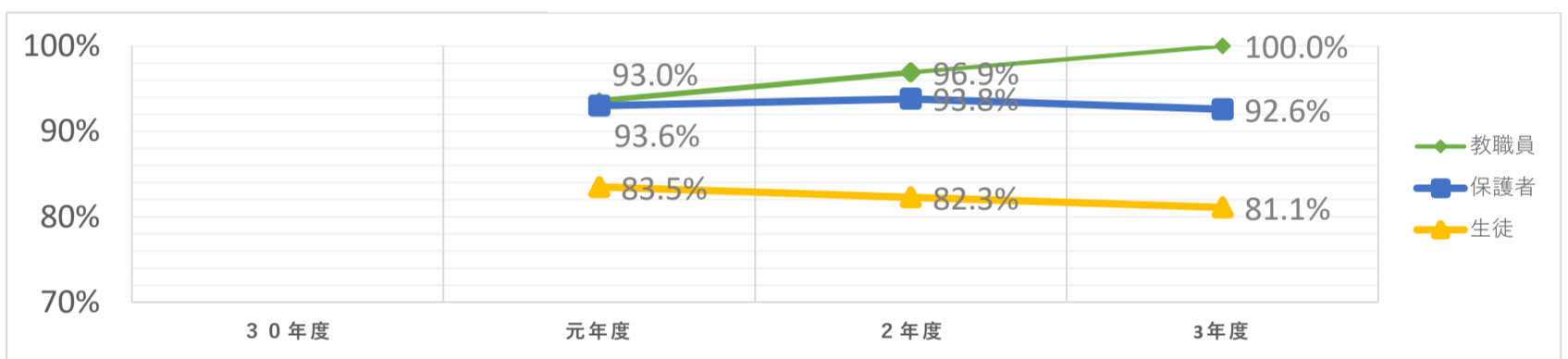
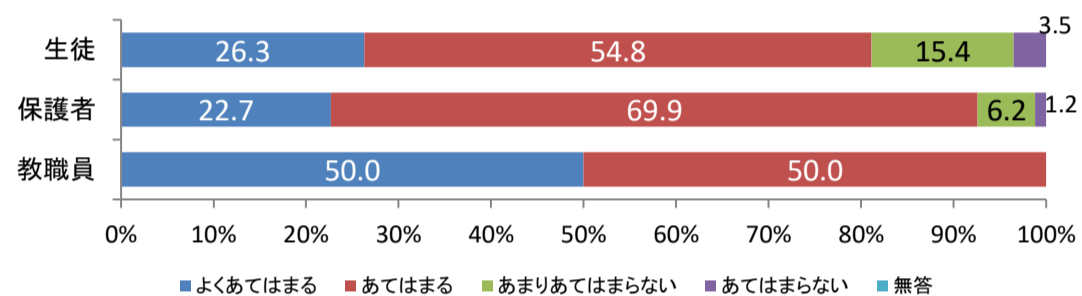
	あてはまる	あてはまらない
生徒	90.7%	9.3%
保護者	91.7%	8.3%
教職員	100.0%	0.0%



学年で足並みをそろえ、人権学習に取り組んでおり、生徒も真剣に学習に取り組んでいる。学習内容等を学年通信でお知らせする機会を増やし、保護者にも一緒に考えてもらえるようにしていきたい。

⑲ 私は、学習や生活の目標を立て、前向きに実行している。

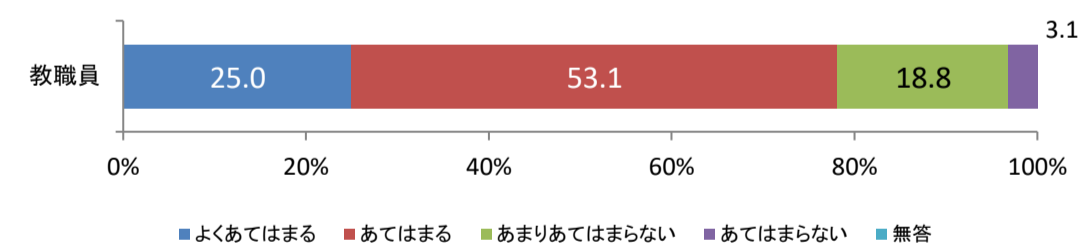
	あてはまる	あてはまらない
生徒	81.1%	18.9%
保護者	92.6%	7.4%
教職員	100.0%	0.0%



生徒は計画や目標を立てる習慣が定着していないため、目標を立てることの意義や計画の立て方などを指導する必要がある。また、計画的に実行することにより、学業の成績が向上したり、部活動等の大会で良い結果が出せたりという成功体験を積ませることができるようにしていきたい。

⑳ 教職員は、「働き方改革」を意識して、部活動時間を設定する等仕事を行うことができる。

	あてはまる	あてはまらない
教職員	78.1%	21.9%



超過勤務時間が80時間を超える職員も多い。生徒のためにという思いが強い職員が多いと感じられる。教師としては、素晴らしいことであるが、心身の健康のため自分自身の働き方を見つめ直す必要があると考える。

学校評議員・PTA本部役員からご意見及び感想をいただきました。

<p>生徒、保護者、教職員のすべてがよくあてはまるまたはあてはまるとの回答が90%を超えている項目は全20項目のうち10項目である。生徒、保護者、教職員のすべてがよくあてはまるまたはあてはまるとの回答が80%を超えている項目は17項目ある。数値目標をどこに置くかで評価を考えることが重要であると思う。</p>
<p>・ 項目⑥⑪⑫は生徒、保護者、教職員のうち、どれかがよくあてはまるまたはあてはまるとの回答が80%以下であるということになる。特に⑥は、保護者、生徒ともにあてはまらないあまりあてはまらないが多く、教職員にもあてはまらないとの回答があるので生徒の食生活や運動にいつそう気をつけるプログラムを考え、規則正しい生活に取り組む必要があると思う。</p>
<p>・ ⑫は教職員からの反応であるので焦点を絞って具体的な対応が必要と思う。</p>
<p>・ ⑪と⑫は生徒、保護者、教職員の評価が3～4年にわたって隔たりがみられるので、その根本原因を見つけ何らかの対策が必要と思う。</p>
<p>・ ⑫では、生徒および保護者の数値が2年度3年度と以前に比して非常によくなっている。コロナ禍の影響で大変な状況下で、教職員が保護者からの質問や悩みにきちんと応じていることの表れと感じた。</p>
<p>・ 時間とともに日々のアクションがアンケート結果に反映されているかを精査するには各学年100数十名の同じ集団で1年次、2年次、3年次を比較すると継続的な活動の結果が見られると思う。</p>
<p>・ ③は、多いと思っているのか少ないと思っているのかわからない。⑪は、ホームページやマチコミメール等をもっと活用してもよいのではないかと思う。</p>
<p>・ 教職員の皆様がアンケートの20項目中12項目で肯定的回答100%であったという点が素晴らしいと思いました。教育は、指導したことがすぐ結果に表れてこないと言われていますが教職員が自信をもって取り組み、そして「取り組んでいる」と回答することでまた、意欲的に取り組めるようになるという好循環をもたらすと考えられます。しかも、その指導の効果もあり、生徒や保護者の回答の肯定率も高い結果が得られていると思います。今まで様々な学校の学校評価アンケートを見せていただきましたが、その中でも群を抜いて高いと感じています。</p> <p>ただ積極的肯定の割合を見たとき②③⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱においては、生徒たちに比べて保護者の割合が低くなっていることが惜しいと思いました。各通信などが保護者の手元に届いていないことが、その理由の一つにもなるかと思しますので、その点の何らかの手立てがあればいいと思いました。コロナ禍によりオープンスクールやPTA参観などの機会が少なくなったことも原因かも知れませんが・・・。</p> <p>一番素晴らしいと思ったのは⑮で生徒の積極的肯定が教職員を上回っていることです。このように感じている生徒たちは、きっと地域に貢献する意識の高い生徒に育っていくことを期待しています。素晴らしいお取り組みに敬意を表したいと思います。</p>





